

「映文連アワード2013」で 最優秀作品賞(グランプリ)ほか多数受賞!

株式会社東北新社(東京都港区・植村徹社長)が制作した『ダイハツコペン 3D』が、9月11日に発表された「映文連アワード 2013」において、最優秀作品賞(グランプリ)を受賞しました。そのほか、主要2部門で部門優秀賞を受賞し、特別表彰の「クリエイター賞」を当社映像制作事業部所属の下田章仁が受賞しました。

「映文連アワード 2013」(<http://www.eibunren.or.jp/>)は、2007年に映像文化製作者連盟が創設した国内で唯一の産業・文化短編映像祭です。「プロフェッショナルが選ぶ、プロフェッショナルの仕事にふさわしい作品」を積極的に発掘・顕彰し、短編映像業界の活性化を図り、次世代を担う新たな才能を発掘することを目的に表彰しています。

本年度は過去最高となる156作品の応募の中から選ばれ、表彰式は12月上旬に、受賞作品の上映会は、12月8日～10日に都内にて行われる予定です。

【最優秀作品賞(グランプリ)】

『ダイハツコペン 3D』9分33秒
制作：東北新社
クライアント：ダイハツ工業

【部門優秀賞】

[コーポレート・コミュニケーション部門]

『宇宙人(びと) Episode001～009』5分×9本
製作：東北新社
クライアント：ヒストリーチャンネル・ジャパン
制作協力：JAXA

[ソーシャル・コミュニケーション部門]

『太平洋に捧げるシェイクスピア～生きつづける、東北のことばと～』
製作：WOWOW、東北新社
クライアント：WOWOW

【クリエイター賞】

下田章仁
(『ダイハツコペン 3D』『SEIKO BASEL2013』
『太平洋に捧げるシェイクスピア～生きつづける、東北のことばと～』の演出)

東北新社会社概要

代表者：植村 徹
設立：1961年4月1日
資本金：24億8,700万円
事業内容：総合映像プロダクション
<http://www.tfc.co.jp/>